

大阪・関西万博に向けた香川県の取組み方針



■取組みのねらい

2025年に県内で実施するイベント

- ・瀬戸内国際芸術祭2025の開催、
- ・あなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)の開業
- ・その他、既存事業・イベント等

との相乗効果によって、本県への来訪促進や、交流人口・関係人口の拡大による持続的な地域の活性化を目指す。

■取組みの方向性

次の2点に力点を置き、大阪・関西万博の会期前・会期中に様々な取組みを展開。

- ① 本県の魅力や強みなどを万博会場内外でアピールする「情報発信」と、
- ② インバウンドを含めた誘客促進や交流イベントの開催などによる「交流拡大」

加えて、本県の課題解決に向けた取組みを強力かつ効果的に進め、万博を契機とした本県の未来につながるレガシーを創出。



① 情報発信の取組例

- ・自治体催事への出展<会場内>
- ・テーマウィークへの出展<会場内>
- ・SNS等を活用した情報発信<会場外>

② 交流拡大の取組例

- ・インバウンドを含む観光誘客の促進
- ・交通アクセス対策
- ・県産品の販路拡大<大阪市内等>
- ・受入環境の向上
- ・万博関連イベントの実施<県内>
- ・機運醸成等

香川県の自治体催事出展 企画概要

香川県の食や伝統文化、瀬戸内海の多島美、アート・建築、次回瀬戸内国際芸術などの魅力を、展示や実演、ワークショップ、飲食、物販などを通じてPR

【会場内施設】
EXPOメッセ

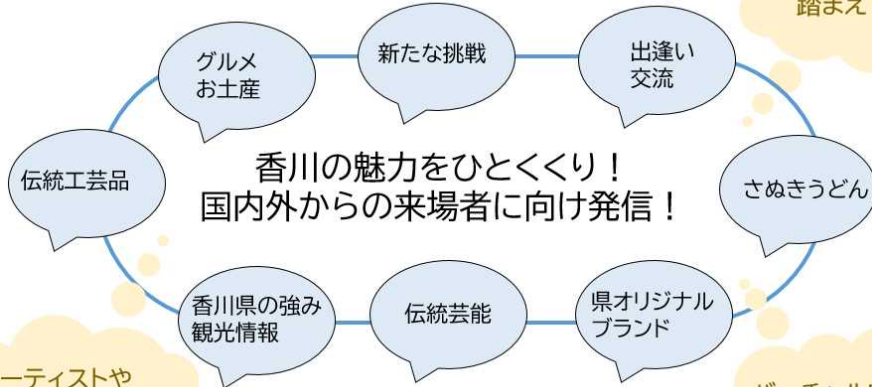
【出展日数】(予定)
4日間

令和7年4月30日(水)～5月3日(土・祝)

<実施概要>

【実施イメージ】

万博の理念や
コンセプトを
踏まえて企画



アーティストや
クリエイターとの
共創による新感覚
の演出を検討

バーチャル空間を
活用した情報発信
も検討



香川県のテーマウィーク出展 企画概要

万博協会から示された8テーマのうちの
「地球の未来と生物多様性ウィーク」において、
香川県の発展と豊かで美しい自然
瀬戸内海との共生に係る課題と
その解決に向けた本県の取組みに関して、
展示や体験等を通じて発信

【会場内施設】
ギャラリーWEST

【出展日数】（予定）
4日間
令和7年9月26日(金)～29日(月)



「テーマウィーク」とは、
世界が半年間にわたって同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決
に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探るという、万博ならではの壮大な取組み

「大阪・関西万博」未来を担う子どもたちの体験学習支援事業 (万博関連事業の一例)

①事業概要

子どもたちが、「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げる「大阪・関西万博」を体感・理解することは、
県教育基本計画の基本理念の推進につながることから、
学校教育活動として大阪・関西万博への参加を促進し、
新しい価値観に触れる機会を創出する。

事業費 令和6年度当初予算:3,260千円、令和7年度 債務負担:418,320千円

②補助対象事業

学校教育活動として県内の小学校、中学校、
高校、特別支援学校、高等専門学校(4、5学年除く)が
大阪・関西万博に参加する事業。



③補助対象経費等

- ・入場チケット料金(補助率10/10)
- ・交通費(実費1/2、上限10万円/学級)



県産品の魅力発信事業(万博関連事業の一例)

大阪・関西万博開催にあわせ、**大阪梅田に期間限定の「香川県アンテナショップ」**を開設し、県産品の認知度向上やブランド力強化を図り、消費者に県産品の魅力を直接訴求することにより、新たな販路開拓や販路拡大につなげていく。

あわせて香川の「食」の情報や観光情報等を提供することにより、香川県への誘客を図る。

時期 令和6年秋頃 2週間程度
場所 阪急梅田駅2階中央催事店
内容 県産品の物販、観光情報提供等

※令和7年度は、万博会期中に実施



県産品の魅力発信事業(万博関連事業の一例)

大阪・関西万博の開催を控え、国内外から多数の観光客が関西圏に訪れることが見込まれることから、**関西圏の外資系ホテル等のレストランにおいて「香川県フェア」を開催**し、香川県と県産食材等の魅力発信を図るとともに、需要喚起を促し、県産品の販路開拓・拡大につなげる。

時 期 令和6年10月～令和7年3月(予定)
場 所 外資系ホテル等 3箇所程度

※令和7年度は、万博会会期中に実施



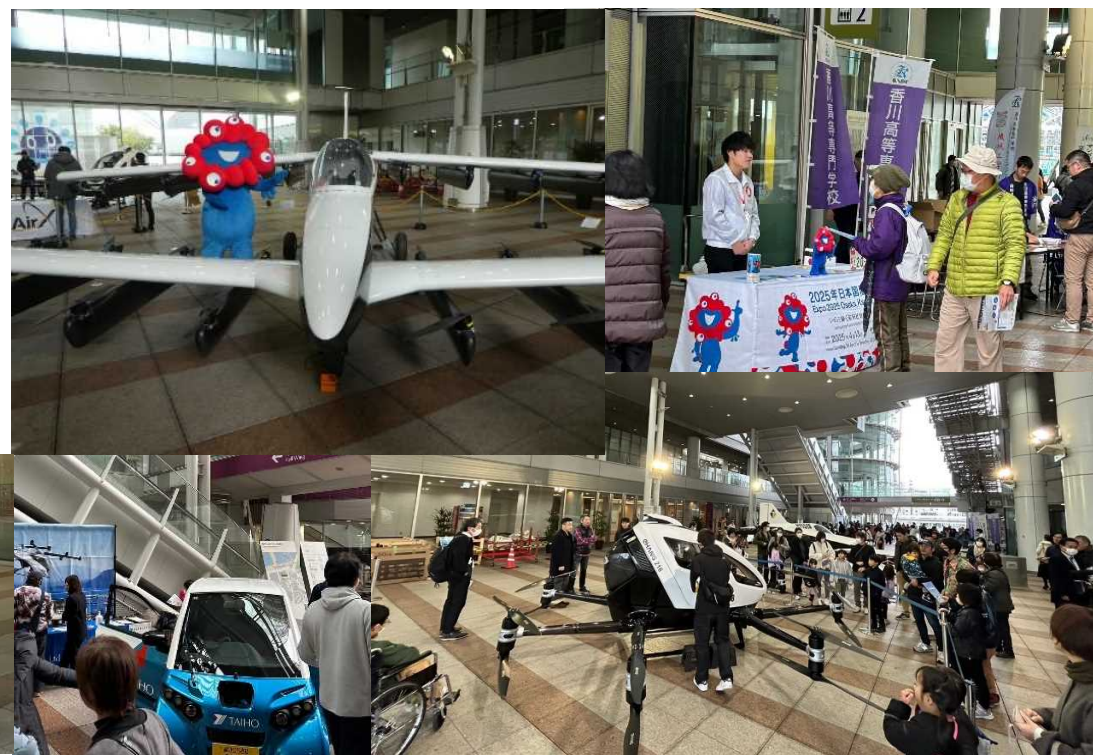
香川県における機運醸成の取組み

県民の皆さまに向けて、大阪・関西万博のPRを行うことで、機運醸成を図る。

PRイベント

<空飛ぶクルマの実機展示イベントでの万博PR> (R6.1.21)

- 大阪・関西万博の目玉「空飛ぶクルマ」を広く知り、理解を深めていただくため、空飛ぶクルマの実物機体を展示するイベントをサンポート高松デックスギャラリーで開催
- 万博協会のブース出展や大阪・関西万博公式キャラクター「ミyakumiyaku」も参加し、2,000人を超える来場者に万博のPRを実施



PRイベント

<万博開幕400日前イベントの開催>

○サンポート高松シンボルトワー及びオリーブタワーにおいて、万博カラーのライトアップを実施

◇日時
点灯セレモニー 令和6年3月9日(土) 18:00~18:15
点灯期間 3月9日(土)~17日(日)

◇場所
JR高松駅前広場

◇内容
・大阪・関西万博公式キャラクター「ミyakumiyaku」と県内のゆるキャラによる点灯セレモニー
・観覧者とのフォトセッション



<県独自のプレイベントの開催>

○万博開幕までの節目の日などに、万博会場での出展内容になぞらえたオリジナルのプレイベントを県内で開催

◇実施時期 令和6年度中

Road to
2025!



情報発信

<池田知事と万博テーマ事業プロデューサーとの対談>

○大阪・関西万博テーマ事業「いのちを高める」プロデューサー 中島さち子氏が
企画を進めるパビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」や大阪・関西万博に向けた
香川県の取組みなどについて意見交換を実施(R6.2.5)
(対談内容は四国新聞の記事として3月19日に掲載)

シグネチャーパビリオン



STEAM ワクワク！を探す旅へ

いのちが踊る、いのちが歌う、いのちがひらく。
生きている！という感覚の発露



中島 さち子 氏

一人ひとりに潜む多様ないのち（創造性）の爆発的な光、
グワツと体の奥深くから立ち上がる、
いのちの生々しい原始の歌に耳を澄ませよう！
会期前から会期後まで、さまざまな世界とつながり、
学びや遊びや創るや「生きる」の大変革を起こしていく。
これは、万人万物の“多様”な存在価値や、あふれるいのち（創造性）の光を爆発させ、
創造の喜びで世界中を繋ぎ、プレイフルで希望に満ちたインクルーシブな未来
「共創」（創造性の民主化）社会を模索する旅。
2025年夢洲の「いのちの遊び場クラゲ館」は、
あなたと共に、その歴史的な証人となる。
人生は、こんなにも、おもしろい。

※STEAMとは：21世紀型の新しい遊び・学び
Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Art/Arts（アート・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）
などを横断する創造的・実践的・主体的な学び方、生き方

